

旧門司駅関連遺構等の展示について（中間報告）

門司港地域複合公共施設建設予定地で発掘された旧門司駅関連遺構に関する展示方策等について、専門家等から意見を聴取するため、「旧門司駅関連遺構等の展示方策等検討懇話会」を3回開催したので、その内容と今後の進め方について報告するもの。

1 懇話会委員の主な意見（構成員：別紙1参照）

○展示方策について

- ・ 門司港の近代化とともに初代門司駅が果たした役割を伝えてほしい。
- ・ 遺構の本質的な価値（特徴的な部分）や時代性、史実を正確にわかりやすく表現すべき。
- ・ 限られた展示スペースをどう活用していくのか工夫が必要である。
- ・ 展示空間全体が遺構のブランディングに寄与するようなデザインイメージとしてはどうか。
- ・ CGやVR、QRといった技術を活用し、ビジュアルで再現してはどうか。
- ・ 子どもや無関心層にも興味を持ってもらえる展示としてほしい。
- ・ 学術的な企画展の実施というのは重要であるが、一方で、多様な人に見てもらうにはエンタメ性のある企画展も大事。

○切出し遺構の展示場所・展示方法

- ・ 切出し遺構の展示手法については、特徴的な部分（断面構造）をわかりやすく展示できるような工夫をしてほしい。
- ・ 切出し遺構は、移築した場所と元の場所との関係がわかるようにしてほしい。
- ・ 切出し遺構は、元あった場所に展示するという観点から検討してほしい。
- ・ 切出し遺構の災害対応含め、管理・保存方法にも留意すべき。
- ・ 床下のほうがよりリアル感を伝えられるのではないか。

○周辺との連携

- ・ 観光資源として、門司港地域全体でストーリー性ある展示にしてほしい。
- ・ 周辺施設と連動したコンテンツの打出しをしてほしい。

2 今後の進め方（別紙2参照）

懇話会の意見等を踏まえ、全体の展示方策の検討を進めていく。

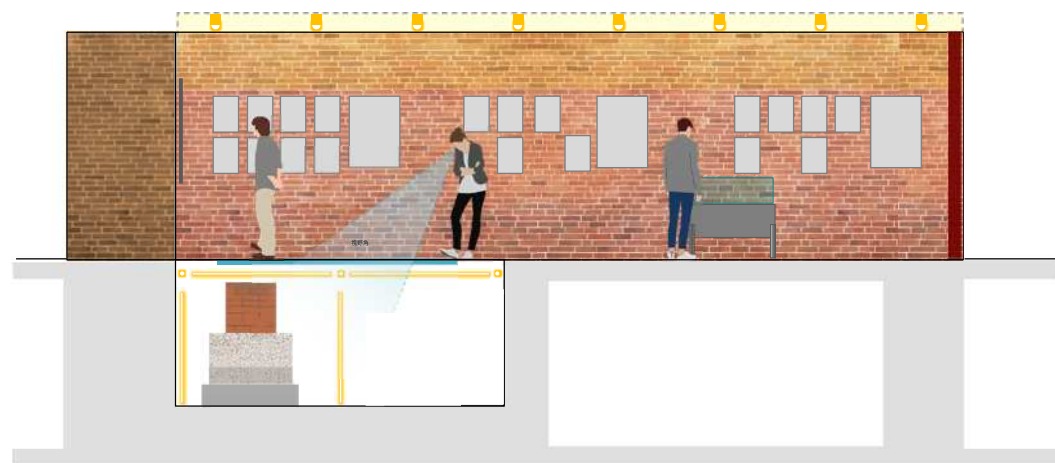
なお、切出し遺構の取り扱いについては、工事の関係上早急に決定する必要がある、懇話会での意見を踏まえ床下展示とする。

旧門司駅関連遺構等の展示方策等検討懇話会 構成員

(敬称略)

分野	所属・役職等	氏名
地元	門司郷土会 会長	ぜにや とくお 銭谷 十九雄
	門司郷土会 幹事	うちやま まさこ 内山 昌子
歴史	北九州市文化財保護審議会 会長	ながお まさのり 永尾 正剛
地域活性化	北九州市立大学地域戦略研究所 教授	みなみ ひろし 南 博
鉄道・土木史	(公社)土木学会 フェロー会員	おのだ しげる 小野田 滋
近代建築史	北九州市立大学建築デザイン学科 講師	やまだ ひろし 山田 浩史
展示	九州鉄道記念館 館長	まつもと ひろふみ 松本 博文
観光	(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事	こいし ふみえ 小石 富美恵
若者	北九州市Z世代課パートナー（社会人）	いちのせ あゆみ 一ノ瀬 歩美
	北九州市Z世代課パートナー（大学生）	あだち りんか 足達 凛花

切出し遺構の展示場所・展示方法について



展示コーナー断面図（切出し遺構の床下展示イメージ）

